



# 農 耕 馬

●発行責任者 吉泉秀男 〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字猿田 7-2 TEL0234-43-2963

## 国が責任をもって対応する (国土交通省)

## 財源は確保する (総務省)

4月10日発生した肘折地区の斜面崩落事故は5月13日再び発生し、地域民の不安が募る中で、6月3日、4日、吉泉衆議院議員が社民党国会調査団(重野幹事長団長)を編成し事故現場に入り、高橋県副知事、加藤大蔵村長はじめ関係者から説明を受け、1日も早い復旧に向けた切実な要望を受けた。

緊急な課題であり吉泉秀男衆議院議員は6日社民党全国連合常任幹事会で詳細に説明し重野幹事長と共に、8日国土交通署、総務署に



現地視察にて被害の説明を受ける

出向き要望書を手渡した。当日は両大臣とも

「社会保障と税の一体改革」特別委員会出席のため、津島国交政務官(青森県選出)と福田総務政務官(栃木県選出)と逢い、「国が責任を持って復旧にあたる。その為の財源は確保する。」という回答を得た。又、津島政務官からは主要地方道にもふれ新しくループ式道路など地元と話し合い、住民はもちろん12万にも訪れる観光客の為にも安全確保に万全を期したいと力強い回答を得た。



高橋副知事より要望を受ける

# [要 望 書]

## 山形県大蔵村肘折地区・斜面崩落事故に関する申し入れ

山形県大蔵村南山付近の主要地方道・戸沢大蔵線斜面が4月10日、5月13日の大規模な崩壊によって通行不能となった。また、銅山川を一時的に閉塞し上流域が湛水した。国土交通省、山形県、大蔵村などの迅速な対応により迂回路の設置、応急的な通水断水の確保をおこなった。

しかし、県道復旧だけではいつまた被害にあうかわからない。冬期間も安全で安心して通行できる生活道路の確保は喫緊の課題である。

社民党は6月4日、国会調査団を派遣し現地を調査し地元関係者等から要望をうかがった。そのことを踏まえて、下記の事項を要請する。

1. 迂回路は幅員3メートルの狭隘な県道と村道でなり冬期には4メートルを越える積雪のため閉鎖されることから県道戸沢大蔵線の早急に復旧をすること。県道復旧にあたっては、地形が急峻で、かつ、豪雪地帯であることを踏まえて、地滑り対策等を十分に講じる必要があるため、技術支援や財政措置を十分に確保すること。
2. 肘折温泉一带の地質はシラス（火砕流堆積物）であり融雪期や豪雨時に地滑りの発生が予測されることから、安心して安全に通行できる本格的な代替道路を整備すること。
3. 県道戸沢大蔵線の災害復旧や銅山川の土砂流出対策については十分な財政措置を講じること。
4. 肘折温泉は年間約12万人の観光客が訪れるが、東京電力福島第一原発事故による風評被害や今回の斜面崩落事故により観光客が激減している。国は山形県や大蔵村と連携をとって送客対策を実施すること。



国土交通大臣羽田雄一郎に申し入れ（6/8）



総務大臣政務官福田昭夫に申し入れ（6/8）